セミナー申込 FAQ

- 1. ウェビナーの案内を戴きましたが参加するには何をどうすれば良いのでしょうか?
 - > fromHC から参加申し込み手続きを実施ください。オンライン参加に必要な情報(ZOOM URL など)がメールにて届きます。
- 2. 開催予定のセミナーについて当日都合がつかないため、申し込んでおりませんが、後日配信を希望します。手続きを教えてください。
 - > 視聴には動画視聴用 ID の発行が必要となります。動画視聴 ID 発行ボタンよりお手続きください。講演動画は、開催 3 日後 17 時までに fromHC へ掲載予定です。
- 3. 後日動画を視聴する場合も都度 ID の発行が必要ですか。
 - > 一度 ID を発行いただけば、同じ ID ですべての動画をご視聴可能です。
- 4. 1つの機関から複数名申込したいです。
 - > 申込フォームに同伴者人数を選択する枠がございますので、そちらから人数を選ぶと入力フォームが出てきます。そちらに参加予定の方の情報を入力ください。当日ご参加する際は、 ZOOM を開くとお名前を入力する枠が出ますので、漢字氏名をご入力の上、ご入室ください。

fromHC からのお申込み方法

開催前



→申込フォームへ

下記簿目に必要事項を入力の上 「入力内容を確認する」をクリックしてください。 能当がない場合には「なし」とご記入下さい。 お客様情報入力 責社名(全角)* 例:HCアセットマネジメント	
責社名(全角)*	
責社名(全角)*	
責社名(全角)* 「同:HCアセットマネジメント	
	_
正尼加里 友 人人 人 人 人 人 人 人 人 人 	
所属部署名(全角)*	
役職名(全角)*	
氏名(全角)*	
ふりがな(全角)* ジ*	
電話番号* 1)*	
W. No. 2	
メールアドレス* 例: abcde@frombc.com	
	_
数本・	
期間視聴 ID を発行 後日、講演動画をfromMCへ掲載いたします。動画の視聴を希望される方はご希望	
のIDを <mark>入力してください。</mark> ※一度発行いただければfromHC内すべての動画をご視聴いただけます。	
※すでにIDをお持ちの方は入力しないでください。 ※登録済みIDはご登録いただけません。別のIDを再入力ください。	
メールニュース配信 □メールニュースの新規登録を希望する 溶液動画の掲載表型やセミナー情報のご案内、fromHCの更新情報を配信いたし	
ます。	
(備考欄) 今後セミナーで取り上げて欲しいテーマや、セミナーに対するご意見をお書き下さい。	
当日参加されない方は上記情報まで入力されましたら、ページ下部の	
当日参加されない方は上記情報まで入力されましたら、ページ下部の 「個人情報の取り扱いについて」へお進みください。	
「個人情報の取り扱いについて」へお進みください。	
「個人情報の取り扱いについて」へお進みください。 当日参加をご希望の方は以下より、セミナータイトル横にあります参加方法をお選び 日村 79世十 会場 セミナータイトル 時間	
「個人情報の取り扱いについて」へお進みください。 当日参加をご希望の方は以下より、セミナータイトル横にあります参加方法をお選び 日村	
「個人情報の取り扱いについて」へお進みください。 当日参加をご希望の方は以下より、セミナータイトル横にあります参加方法をお選び 日村 「ウェナー 会場 セミナータイトル 時間 18:00-18:40	
「個人情報の取り扱いについて」へお進みください。 当日参加をご希望の方は以下より、セミナータイトル横にあります参加方法をお選び 日村	
「個人情報の取り扱いについて」へお進みください。 当日参加をご希望の方は以下より、セミナータイトル横にあります参加方法をお選び 日付 つよナー 会場 セミナータイトル 時間 18:00-18:40 18:00-18:40 18:00-18:20 18:40-18:20 18:40-18:20 18:40-18:20 18:40-18:20 18:40-18:20 18:40-18:20 18:40-18:20 18:40-18:20 18:20-17:00 18:40 18:20-17:40 18:40-18:40 18:00-	
「個人情報の取り扱いについて」へお進みください。 当日参加をご希望の方は以下より、セミナータイトル横にあります参加方法をお選び 日村	
「個人情報の取り扱いについて」へお進みください。 当日参加をご希望の方は以下より、セミナータイトル横にあります参加方法をお選び 日村 7247 会場 セミナータイトル横にあります参加方法をお選び 日村 7247 会場 15:00-15:40 日 ロ 12 資産機定と資本機定 15:00-15:40 日 ロ 12 資産機定の最適化 15:20-17:00 日 15:40-16:20 日 15:00-15:40 日 15:00-15:40 日 15:00-15:40 日 15:00-15:40 日 15:00-15:40 日 15:00-15:40	
「個人情報の取り扱いについて」へお進みください。 当日参加をご希望の方は以下より、セミナータイトル横にあります参加方法をお選び 日村 7247 会場 セミナータイトル横にあります参加方法をお選び 日村 7247 会場 15:00-15:40 日 ロ 12 資産機定と資本機定 15:00-15:40 日 ロ 12 資産機定の最適化 15:20-17:00 日 15:40-16:20 日 15:00-15:40 日 15:00-15:40 日 15:00-15:40 日 15:00-15:40 日 15:00-15:40 日 15:00-15:40	
「個人情報の取り扱いについて」へお進みください。 当日参加をご希望の方は以下より、セミナータイトル横にあります参加方法をお選び 日村	
「個人情報の取り扱いについて」へお進みください。 当日参加をご希望の方は以下より、セミナータイトル横にあります参加方法をお選び 日村 つなナー 会場 セミナータイトル 時間 15:00-15:40 日本 15:00-15:40 日本 15:00-15:40 日本 15:00-15:40 日本 15:00-15:40 日本 16:20 日本 16:20	
「個人情報の取り扱いについて」へお進みください。 当日参加をご希望の方は以下より、セミナータイトル横にあります参加方法をお選び 日村	
「個人情報の取り扱いについて」へお進みください。 当日参加をご希望の方は以下より、セミナータイトル横にあります参加方法をお選び 日村 つなサー 会場 セミナータイトル横にあります参加方法をお選び 15:00-15:40 15:00-15:40 16:20-17:00 16:20-17:00 16:20-17:00 16:20-17:00 16:20-17:40 16:20	
「個人情報の取り扱いについて」へお進みください。 当日参加をご希望の方は以下より、セミナータイトル横にあります参加方法をお選び 日付 ヤルナー 会場 セミナータイトル横にあります参加方法をお選び 15:00-15:40 15:00	
「個人情報の取り扱いについて」へお進みください。 当日参加をご希望の方は以下より、セミナータイトル横にあります参加方法をお選び	
「個人情報の取り扱いについて」へお進みください。 当日参加をご希望の方は以下より、セミナータイトル横にあります参加方法をお選び 日村	

会社名など、*の必須項目

→当日参加の方も、後日動画視聴の方も、ど ちらも入力ください。

動画視聴 ID 発行

→後日、動画視聴を希望する場合は入力ください。(英数字 8 桁以上)

※すでに発行済みの方は空欄にしてください。

当日参加を希望する方のみ、参加申込枠から、ウェビナーか会場か選択ください。

※後日、動画視聴を希望する方はこちらのチェックは不要です。個人情報の取り扱いについて へお進みください。

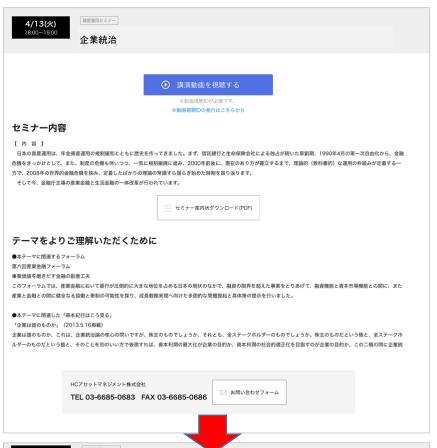
同伴者人数

→複数申込がいる場合に入力

※申し込み完了後、入力確認の自動返信メールが届きます。ZOOM 入室用の URL 等の情報が記載してあるのでご確認ください。

【動画掲載後】

開催後、3営業日以内に掲載予定です。



→ID発行済みの方は「講演動画を視聴する」ボタンをクリックしてください。

→ID未発行の方は「動画視聴 ID の 発行はこちらから」をクリックして、登 録フォームへ必要事項をご入力くだ さい。

4/13(火) 18:00~19:00

資産運用の歴史と実践資産運用の歴史と実践資産運用の歴史と実践



セミナー内容

【内容】

日本の資産運用は、年金資産運用の規制緩和とともに歴史を作ってきました。まず、信託銀行と生命保険会社による独占が続いた草創期、1990年4月の第一次自由化から、金融 危機をきっかけとして、また、制度の危略も伴いつつ、一気に規制限機に進み、2000年前後に、現在のあり方が確立するまで、理論的(教料書的)な運用の枠組みが定着する一 方で、2008年の世界的金融危機を挟み、定着したばかりの理論の常識すら揺らぎ始めた時期を振り返ります。

そして今、金融庁主導の産業金融と生活金融の一体改革が行われています。

資本市場強化のためには、資金関連を行う企業は、市場に対して厳格な責任を負わなくてはなりません。そこで、企業の行動を律するものとして導入されたのが、コーポレート ガパナンス・コードです。

フィデューシャリー・デューティーで律せられた投資家は、国民の利益のために、資本市場において、コーボートガバナンス・コードで律せられた企業と対峙し、公正な価格形成を保証し、市場を活性化して、安定した産業金融の基盤構築に努めるのです。

責任ある対峙は、対立ではありません。そこには、対峙しつつ、経済成長を適じた国民の厚生の増大という共通利益の創出のために、協働するという側面もあります。この高度 な関係を律するものがスチュワードシップ・コードです。

この改革で最終的に目指されるのは、経済成長と国民の安定的な資産形成に対する貢献、徹底した顧客の利益の視点、金融機関の自主自律的な経営革新なのであって、これは金